

IV. 項目ごとの記述

全項目の改善が必要であるが、少人数の教職員のため、平成27年度は、「★」印を重点に改善し、ワンランク評価を上げることを目標とする。

(1). 教育理念・目標	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
A. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
B. 学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
C. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
D. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
E. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

ブライダルおよびエステ、ネイル、メイクの専門的実践教育から職業への移行が本校の目標であり、課題として ①専門的特化分野の育成 ②社会ニーズの吸収システムの確立 ③職業へのスムーズな移行をあげる。

② 今後の改善方策

- ①専門的特化分野の明確化
- ②学校評価作業などを通じた社会ニーズの吸収
- ③就職指導、生活指導を活用した職業意識とマナーの確立

③ 特記事項

・学生便覧3～7ページ(建学の精神・学則)

平成26年度 自己評価報告書

(2). 学校運営	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
B. 運営方針、中長期計画、KPIに沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
C. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
D. 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
E. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
F. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
G. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
H. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

「豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する」を学園の建学の精神とし、学校の目的(学則)・事業計画・中長期計画を策定し、運営方針を定めている。方針に沿った学校運営を行っているものの未整備・未実行・未達成の項目も多く残され、機能をしていない部分もある。具体的には、次の項目が課題とされる。

- ① 学科方針、コース方針、分野方針の策定、目指す職業・資格の確立
- ② 中長期計画の具体的実項目
- ③ 専任教員間及び非常勤講師との連携
- ④ 情報システム化などの業務の効率化
- ⑤ KPIの達成

本校は、専任教員4名、専任職員2名である。そのマンパワーが足りない部分を非常勤講師、法人本部を中心とする姉妹校教職員の力を借り、効率よく有効な学校運営を再検討する。また、業界、業者、サロン、学生、保護者などのステイクホルダーとの関係強化を図る。

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

平成26年度 自己評価報告書

(3). 教育活動		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
A. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	
B. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1	
C. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1	
D. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	
E. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1	
F. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1	
G. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	
H. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1	
★ I. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1	
★ J. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	
★ K. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1	
L. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1	
★ M. 専任教員の管理の下に、非常勤講師による実務教育と最先端スキル教育を行えているか	4	3	2	1	
★ N. 関連分野における目標・目標に沿ったシラバスの作成・改善がされているか	4	3	2	1	
O. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1	

①教育目標(学科・コース・分野)の設定がなされていない。そのため、体系的なカリキュラムの編成ができていない。

① 課題

②専任教員の専門知識・技術が不十分である。  
③専任教員の経験不足に伴い、非常勤講師との連携(指示・話し合い)が不十分である。

② 今後の改善方

①教育目標(学科・コース・分野)の設定。  
②外部研修を利用した専門スキルの向上。  
③シラバスの作成を通じ、分野間において専任教員と非常勤教員が話し合い、共通理解の下、教育活動を実施する。

③ 特記事項

・学生便覧8～12ページ(入学・卒業に関する規程・試験施行細則・追試験施行細則)  
・教育課程表  
・シラバス

平成26年度 自己評価報告書

(4). 学修成果		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
★	A. 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
★	B. 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
★	C. 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
	D. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
	E. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①就職決定率100パーセントが達成できていない。

②資格取得意欲が低い学生がいる。

③就職後定着率が悪い。

①早いタイミングから幅広く就職活動をし、徐々に絞り込んでいく就職指導を実践する。

②資格の必要性を学生にしっかり説明するとともに合格の喜びを共有する仕掛けを演出する。

③事業内容が優良な就職先探しと在学中に就職意識を形成させる授業を展開する。

・学生便覧19～24ページ(奨学金給付細則・学生生活に関する一般的注意事項について)

①  
課題

②  
今後の  
改善  
方策

③  
特記  
事項

平成26年度 自己評価報告書

(5). 学生支援	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
B. 就職指導システムの充実として、結婚式場、サロンだけでなく周辺業界も含め、関係作りが強化されているか	4	3	2	1
C. 就職指導システムの充実として、就職指導教材の作成を学校全体で実践できているか	4	3	2	1
D. 授業のみならずあらゆる機会を利用して学生の職業意識向上とマナーの向上を図れているか	4	3	2	1
E. 非常勤講師、業者、サロン、卒業生、学生、保護者などのステイクホルダーとの関係強化を図れているか	4	3	2	1
F. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
G. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
H. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
I. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
J. 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
K. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
L. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①学校と企業との就職実績が少なく、本校の知名度と信頼性が不十分である。

②学校全体で就職情報の共有が不十分である。

③担任の就職指導経験と力量が未熟である。

①  
課題

①学校としての指導の目標レベルを明確化し、チェック体制を整える。

②学校全体で職員会議において就職担当者から状況報告と就職指導の報告をする。

③ELIC専ならびに美容専の就職指導のやり方も含め方策を学ぶ。

②  
今後の  
改善  
方策

・学生便覧19・20・25・27ページ(奨学金給付細則・学生生活に関する一般的注意事項について)

③  
特記  
事項

平成26年度 自己評価報告書

(6). 教育環境	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 学生の学習理解を深めるため、教育機器、教育教材は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	3	2	1
B. 環境アメニティに配慮した施設・設備の改修に努めているか	4	3	2	1
C. 学生の作品展示、学生主導による学校飾りなどを実践し、学生に発表の場を提供できているか	4	3	2	1
D. 学内外の実習施設、インターンシップを利用し、学生の職業を「知る」「見る」「感じる」機会を増やし、職業意識の向上のための環境整備がされているか	4	3	2	1
E. 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①学内資源の整備、充実

②学外資源の活用

③インターンシップの準備

①  
課題

①学内施設の計画的な補充と整備

②活用できる学外資源情報の収集と実地確認

③インターンシップの実施

②  
今後の  
改善  
方策

・学生便覧13・14ページ(台風、公共交通機関のストライキ時の休講について・東海地震に関する対応について)

③  
特記  
事項

平成26年度 自己評価報告書

(7). 学生の受入れ募集		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
★ A. 学生募集活動は、適正に行われているか		4	3	2	1
B. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか		4	3	2	1
C. ホームページ、ブログ、ツイッターなどのITを通じた見せる広報へのシフトを実行できているか		4	3	2	1
D. 学生による手作り感のあるイベントを実施できているか		4	3	2	1
E. 高校との関係作り、保護者との関係作り、文化祭の地域への解放、メイクショーなどの知名度を向上させる新たな手法を検討しているか		4	3	2	1
F. 学納金は妥当なものとなっているか		4	3	2	1

①募集ツールのバランスが確立されていない。

②学生主体によるイベントが不十分

③学校の特徴不足

①  
課題

①募集ツールの確認、見直し、再編成

②卒業制作を学生主体で計画、運営していく。

③ブライダルビューティー科、トータルビューティー科で各科1つずつ特長を検討する。

②  
今後の  
改善  
方策

・学生便覧7ページ(学則)

③  
特記  
事項

平成26年度 自己評価報告書

(8). 財務		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
★ A. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		4	3	2	1
B. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		4	3	2	1
C. 財務について会計監査が適正に行われているか		4	3	2	1
D. 財務情報公開の体制整備はできているか		4	3	2	1

財務適正規模の確保と維持

① 課題

① 適正入学者数を確保する。

② 今後の改善方針

② 授業料を年4万円値上げし、学生納付金収入を増やし、納付金の効果的な利用を検討する。

③ 教育課程のスリム化、受講者僅少講座の合併授業により兼務人件費を抑制する。

④ 退学者による学生納付金収入減を改善するため、退学防止マニュアルを作成し減損額を抑制する。

③ 特記事項



平成26年度 自己評価報告書

(9). 法令等の遵守	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
B. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
C. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
D. 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①専修学校設置基準等の遵守に関しては、学則を定め、法令に沿った学校運営を行っているものの、現状の運用状況のチェックができていない。

①  
課題

②個人情報の保護に関して、規程は定められているものの、依然、有効な対策が取られていない。特にデジタルデータにおいては、教職員のパソコン知識が欠如している部分がある。

②  
今後の  
改善  
方策

①マンパワーが足りない部分を法人本部を中心とする姉妹校教職員の力を借り、適正な運営に心掛ける。

②今回の自己点検評価(初回)・学校関係者評価を利用し、再度、法令の適正運営を確認する。また、その内容を情報公開し、広く社会に発信することにより、社会からも評価をしてもらうようにしていく。

③  
特記  
事項

・学生便覧5～7・15・16ページ(学則・個人情報保護に関する規則・本校における個人情報の利用目的)  
・教育課程表  
・シラバス

平成26年度 自己評価報告書

(10). 社会貢献・地域貢献	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	①
B. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	①

① 課題

- ①教育を通じた社会貢献、地域貢献が行われていない。
- ②ボランティア実践に向けた活動が行われていない。

② 今後の改善方策

- ①地域のビューティー分野への人材の供給。
- ②文化祭の地域社会への開放。

③ 特記事項